

《応用物理学専攻 博士課程前期》

令和 8 年度 4 月入学生を募集する専修部門と主指導教員及び主な研究内容

専 修 部 門	主 指 導 教 員	主 な 研 究 内 容
基礎物理学	教 授 博士(理学) 固武 慶	爆発的天体現象に関する理論的研究
	教 授 博士(学術) 林 壮一	物理教育に関する研究
	教 授 博士(理学) 宮原 慎	磁性体などの物性理論
物性物理学	教 授 Ph.D 武末 尚久	X線・粒子線散乱と第一原理計算による物性研究
	准教授 博士(工学) 大田 晃生	薄膜・表面界面物性に関する研究
ナノ物理学	教 授 博士(理学) 香野 淳	物質のナノスケールの構造と物性に関する研究
	教 授 博士(理学) 眞砂 卓史	微細電子材料の電子物性に関する研究
	教 授 博士(理学) 山本 大輔	生体分子の構造と物性に関する研究
物理情報計測	教 授 博士(理学) 御園 雅俊	超高分解能レーザー分光光学に関する研究
	教 授 博士(理学) 端山 和大	観測的重力波天文学
	准教授 博士(科学) 大前 宣昭	次世代周波数標準に関する研究
	准教授 博士(理学) 政田 洋平	非線形物理現象の計算, データ科学手法による研究

授業科目, 単位, 担当者及び履修方法, 主な研究内容 (令和 7 年度現在)

※令和 7 年度開講科目は, シラバス (授業内容含む) をWebで公開しております。「電子シラバス 福岡大学」で検索の上, 参照ください。

主要科目

専 修 部 門	授 業 科 目	単位数	担 当 者	主 な 研 究 内 容
基礎物理学	基礎物理学講究Ⅰ	4	教 授 博士(理学) 固武 慶	爆発的天体現象に関する理論的研究
	基礎物理学講究Ⅱ	4	教 授 博士(学術) 林 壮一	物理教育に関する研究
			教 授 博士(理学) 宮原 慎	磁性体などの物性理論
	基礎物理学演習	10	教 授 博士(理学) 固武 慶 教 授 博士(学術) 林 壮一 教 授 博士(理学) 宮原 慎	
物性物理学	物性物理学講究Ⅰ	4	教 授 Ph.D 武末 尚久	X線・粒子線散乱と第一原理計算による物性研究
	物性物理学講究Ⅱ	4	准教授 博士(工学) 大田 晃生	薄膜・表面界面物性に関する研究
	物性物理学実験	10	教 授 Ph.D 武末 尚久 准教授 博士(工学) 大田 晃生	
ナノ物理学	ナノ物理学講究Ⅰ	4	教 授 博士(理学) 香野 淳	物質のナノスケールの構造と物質の物性に関する研究
	ナノ物理学講究Ⅱ	4	教 授 博士(理学) 眞砂 卓史	微細電子材料の電子物性に関する研究
			教 授 博士(理学) 山本 大輔	生体分子の構造と物性に関する研究
	ナノ物理学実験	10	教 授 博士(理学) 香野 淳 教 授 博士(理学) 眞砂 卓史 教 授 博士(理学) 山本 大輔	

物理情報計測			教 授 博士(理学) 端山 和大	観測的重力波天文学
	物理情報計測講究Ⅰ	4	教 授 博士(理学) 御園 雅俊	超高分解能レーザー分光学に関する研究
	物理情報計測講究Ⅱ	4	准教授 博士(科学) 大前 宣昭	次世代周波数標準に関する研究
			准教授 博士(理学) 政田 洋平	非線形物理現象の計算・データ科学手法による研究
	物理情報計測実験	10	教 授 博士(理学) 御園 雅俊 教 授 博士(理学) 端山 和大 准教授 博士(科学) 大前 宣昭 准教授 博士(理学) 政田 洋平	

特修科目

部 門	授 業 科 目	単位数	部 門	授 業 科 目	単位数
非 専 修	宇 宙 物 理 学 特 論	2	非 専 修	物 理 情 報 科 学 特 論	2
	統 計 力 学 特 論	2		物 理 教 育 学 特 論	2
	量 子 物 理 学 特 論	2		科 学 教 育 研 究 特 論	2
	量子エレクトロニクス特論	2		科 学 哲 学 特 論	2
	レ ー ザ ー 分 光 学 特 論	2		化 学 教 育 学 特 論	2
	結 晶 物 理 学 特 論	2		基 礎 物 理 学 特 別 講 義	1
	X 線 結 晶 学 特 論	2		物 性 物 理 学 特 別 講 義	1
	半 導 体 特 論	2		ナノ物理学特別講義	1
	磁 性 物 理 学 特 論	2		物理情報計測特別講義	1
	生 物 物 理 学 特 論	2		化学教育学特別講義	1

- 1 学生は、主要科目のうちから1専修部門を選定し、これをその学生の専修科目とする。
- 2 学生は、専修科目担当者のうちの1人を主指導教員とし、専修科目及び専修科目以外の科目の選定並びに学位論文の作成、その他研究一般についてその指導を受けるものとする。
- 3 前項のほか、学生は、主指導教員が定めた副指導教員の指導も受けるものとする。
- 4 学生の標準修業年限は2年とし、所定の授業科目について、合計30単位以上を修得しなければならない。
- 5 前項の30単位以上は、専修科目18単位（講究8単位、実験又は演習10単位）及び特修科目12単位以上とし、主指導教員が必要と認めた場合、他の専攻又は研究科の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。
- 6 前項に規定する授業科目のほか、主指導教員が必要と認めた場合は、応用物理学専攻博士課程後期の特修科目を履修することができる。ただし、この修得単位は、修了要件単位数に算入しない。
- 7 学生は、主指導教員を主査として、専修科目について修士の学位論文を提出し、論文審査及び最終試験に合格しなければならない。